

「受賞者の喜びの声」

善行表彰を受けて

大分県竹田市

後藤 建一



この度、平成二十九年
度秋季善行表彰という栄
えある賞を頂き、家内共
ども喜んでおります。
伝達式当日、三人の知
人から祝電が届き、これ
も大変嬉しかったです。
私は、青少年育成及び
指導の分野での表彰で
す。
少年補導員、少年指導
委員を兼務しながら、校
区内の通学路パトロー
ル、夏休みパトロール、
各地区で行われる祭りで

善行表彰を受けて

埼玉県越生町
越生町地域づくり
推進協議会麦原部会



のパトロール、少年補導
員研修会、警察署と夜間
深夜パトロール、熊本大
分地震における支援募金
活動等をしてきました。
また、「個人的な子供の事
で」等の親の相談にも対
応しています。
今回、善行章を授かり、
改めて身の引き締まる思
いです。今後は、善行と
は何か？目的である「善
行活動を実施する事」「善
行精神の高揚を図ること
」を忘れず、微力では
ありますが、日々努力し
たいと思えます。地域が
明るく住み良い町、安心
安全な町を目ざして努力
したいと思えます。
結びに一般社団法人日
本善行会の益々のご発展
と会員の皆様のご健康を
ご祈念申し上げます。お礼の
挨拶と致します。誠に有
難うございました。

この度、栄誉ある秋季
善行表彰を賜り、心から
感謝し厚く御礼申し上げ
ます。
私どもは、最寄り駅か
ら九kmほど山間部にある
四十五世帯ほどの小さな
集落で、「越生町地域づ
くり推進協議会 麦原部
会」として地域の絆を大

切にした活動を続けて参
りました。
昭和五十三年から集落
に繋がる約三kmの街道に
アジサイ五千本を植栽
し、草刈り清掃のほか、
街道に沿う清流の河川清
掃も行ってきました。初
夏の「あじさい祭り」に
は、観光客やハイカーへ
郷土料理のおもてなしを
続け、喜ばれております。
これら環境美化にはじ
まる様々な活動は、高齢
化の進む集落に、助け合
いの精神を芽生えさせ、
暮らしの支えにもなって
おります。
今回の受賞は、私ども
集落が地道に活動を続け
てきた結果が、花開いた
ものであり、来年の初夏
には満開のアジサイと
共に、改めて喜びを分か
ち合いたいと思っております。
日本善行会の益々の発
展を祈念いたします。

恥ずかしい栄誉

北海道北見市

丸銭 達司



私は二十九年秋季善
行表彰式、社会福祉関係
で賞状受取の代表として
の栄誉を受けました。お
粗末な話ですが、四十歳
の時うつ病に罹り仕事も
駄目、大黒柱として家族
を支える事も出来ず、今
日死のうか、明日死のう
かと苦しい日々が続
きました。七年が経ち少
しずつ薄皮を剥ぐよう
に快方に向かったので病
気を隠し新たな仕事での再

出発です。すると心の中
に少し陽が射し初め、命
が蘇った安堵感が漲りま
した。それからこの福祉
活動の世界に夢中に飛び
込んだ訳です。環境保護
活動、高齢者施設でのガ
イドヘルプ、それから
二十二年、自分の我欲の
ままに生きて来て人の痛
みも分からなかった。病
を経験してやっと分かっ
たのです。活動の動機が
他の人達と違い恥ずかし
いのです。その様な見え
狭い自分がこんな立派な
賞を頂いて本当に良いの
でしょうか。今でも複雑
な気持ちで一杯です。こ
の栄誉はこれからも活動
の輪を広げ、一人でも多
くの方々に貢献して行く
事で報いなければと思っ
ております。

ご接見の栄に浴して

千葉県千葉市

須藤 治雄



薄曇りですが、心は晴れ
ばれとなった十月三十一
日東宮御所において平
成二十九年長寿善行者
の皇太子殿下のご接見の
栄を賜りまして、誠に有
難く御礼申し上げます。
全国各地より参列され
ました百八名のの中に加
えていただきました。正
直なところ戸惑いの念を
抱きつつ善行会職員のご
案内で明治記念館から三
班に分かれて東宮御所
向かいの玉砂利を一段
大歩踏みしめて、ご接見
会場に案内されました。

前列に着座させて頂いて
いると私のすぐ前の右側
より皇太子殿下がお入り
になり、緊張が高まる中
で殿下のお出ましを迎え
る事に成りました。一人ひ
と心優しくお声をおか
けになる殿下のお姿を、
間近で拝見できました。こ
とは、生涯忘れ難い事だ
きました。私の前にお立ち
なされ、「どのような事を
なされてますか」とご
下問がありました。
「私は、芸能ボランティア
で各老人ホームまたは、
色々な施設で皆さんに喜
んでいただいています」と
とお答え申し上げました。
すると殿下より「お身
体を大切になさりながら
活躍して下さい」とお言
葉を賜りました。
これからは殿下のお言
葉を心に入れて元気に精
進させていただきます。

長崎県佐世保市

藤井喜久夫



この度、秋晴れの十月
三十一日(火)東宮御所
において長寿善行者の一人と
して皇太子殿下の栄を賜り
ました。
これもひとえに推薦して
下さった方々のおかげと心
より感謝申し上げます。
明治記念館に集合し記念
写真撮影後二列に並び東宮
御所へ参りました。
ご接見者百八名が東宮
御所一日の間、我が人生
最高の栄誉でございました。
緊張して皇太子殿下のご入
室をお待ちいたしました。
まもなく皇太子殿下がお
出ましになられ、勝野副会

長より参内のご挨拶、続け
て参内者の代表から活動報
告と感謝の言葉を申し上げ
ました。
皇太子殿下より励ましの
お言葉を賜りました。前列の
一人つづの前に進まれ笑顔
でお声をかけられました。
やがて私の前に来られた
殿下は明るいお声で「どの
様なことをされています
か」とお尋ねになりました。
「私は、環境美化活動に
三十五年携わっております
」と申し上げました。
「これからも健康に留意
し、更に活躍を心ましょ願
いします」との励ましのお
言葉を賜りました。
殿下から戴いた暖かいお
言葉を励みに今後とも善行
活動の実績に精進して参
存させていただきます。
善行会の皆様には大変お
世話になりました。
最後に生涯忘れ得ぬ栄光
と感動を胸に東宮御所を後
にしました。

神奈川県小田原支部

日本善行会 百二十人が交流 関東ブロック協議会

十月二十九日の関東ブ
ロック協議会では、島村
弘子会長のあいさつに続
いて、志村宗男小田原支
部長があいさつし、多く
の会員の参加を歓迎した。
続いて、来賓の勝野堅
介日本善行会副会長、加
藤憲一小田原市長他多数



の来賓の方々よりあいさ
つがあり、会員らの日頃
の活動をたたえた。
また、加藤市長からは、
協議会に際して基調講演
をいただき、善行の大切
さを語られるとともに、
地域の善行の歴史も紹介
された。
関東ブロック協議会終
了後は、郷土芸能や会員
の大正琴の演奏などが披
露され、参加者を喜ばせ
た。
翌日は小田原城天守閣
などを見学し、城下町小
田原の雰囲気を楽しんだ。

善行川柳

選者 東 逸平

○よき社会 未来を育む 子は宝

北海道 齊藤 勉

評／川柳とは、ありのままの思いを自分のことばで五七・五に読み上
げる短詩型文芸です。この句では「よき社会」未来を育む「子は宝」
と、それぞれ三つの主題を集めました。少し拙い感じがしますが、
少し拙い感じが、少し標語みたくはなりました。

○気は長く はらを立てずに がんばろう

群馬県 横江 勇

評／何かちょっと気にならないことがあったんですね。
そう云えば、腹が立ったことが沢山あった旧年でしたね。
今年も気を長くしていられないようですね。

○ボランティア して出る元氣 この笑顔

香川県 丸野 忠義

評／分かりますね。人の喜ぶ姿に自分の中にも元氣が出てくる。自分
のしていることが他人の笑顔を生む。しかし、誰の笑顔かな。思い
切って、こうしたらどうだろう。
《ボランティア 笑顔がうれしい 今日もまた》
作者のもう一つの句に
《「ありがとう」と言われて彼は「うん」と言う》
と云うのがありました。川柳に《「ん」とか、《？》とか《！》
は不用ですよ。

善行表彰を受けて

千葉県柏市

寺内 全次



好天に恵まれ日差しが
ある所から明治神宮の森
の中へ入ると寒くなり思
わず襟を立てた日、平成
二十九年秋季善行表彰
を賜り感謝はひとしおで誠
に有り難う御座いました。
私が柏市へ住んだのは
昭和四十年十二月で、小
さな新居を購入し結婚生
活を始めました。
当時の町会は私たち
十七軒が住んで百世帯超

えたと云う空地ばかりの
所でした。地元の人には十
軒余りで町会始の家が
新住民です。そこで間も
なく町会副会長に選出さ
れ会の運営に携わり、町
会の規約の制定や老人ク
ラブの設立等住民福祉の
活動を行いました。
最近では自主防災会の
設立をして自ら会長にな
りその礎を築きました。
今はわかば会の会長とし
て介護予防のサロン活動
をしているところです。
民生(児童)委員とし
ては、現役時代から退職
後と二度にわたり通算
二十五年間活動をしまし
た。今後は今迄の経験を
生かし健康である限り社
会の為に尽力することと
しています。

私は二十九年秋季善
行表彰式、社会福祉関係
で賞状受取の代表として
の栄誉を受けました。お
粗末な話ですが、四十歳
の時うつ病に罹り仕事も
駄目、大黒柱として家族
を支える事も出来ず、今
日死のうか、明日死のう
かと苦しい日々が続
きました。七年が経ち少
しずつ薄皮を剥ぐよう
に快方に向かったので病
気を隠し新たな仕事での再